

兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練



11月13日(日)午前9:00 **開始**

問 災害対策課
(0798・35・3626)
訓練当日は午前9時~10時
に災害時専用電話
(0798・35・3456)を開設

各家庭や職場で避難方法の確認を

防災スピーカー、緊急告知ラジオ、緊急速報メール(エリアメール)が合図!

①シェイクアウト

地震発生!
まずはその場で身を守ろう

9:00 防災スピーカー・緊急告知ラジオ鳴動
南海トラフ巨大地震が発生したと想定。
にしのみや防災ネットも配信されます

【3つの安全行動】



姿勢を低く!
頭と体を守って!
揺れがおさまるまでじっとする!

②津波避難

大津波警報発令!
津波避難ビルまで行ってみよう

9:03頃 緊急速報メール(エリアメール)配信
大津波警報発令により避難を呼びかけるメールが配信されます。**マナーモードにしている大きな音で鳴りません。**電源を切っている場合は鳴りません



9:05頃 にしのみや防災ネット配信
浸水想定区域では、防災スピーカーも鳴動

津波浸水想定区域の皆さんは、近くの津波避難ビルや避難場所までの経路を確認しながら歩いてみよう

③災害伝言板利用

災害時に安否情報を伝える方法を確認しよう

9:00~18:00
NTT災害用伝言ダイヤル(※1)や、携帯各社(docomo、au、SoftBank)の災害伝言板サービス(※2)が開設

※1...被災地内の電話番号・携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメール
※2...被災地域の携帯電話やスマートフォンから自身の状況を登録。登録された安否情報はインターネットなどを通じて、全世界から確認できる

伝言板サービスを使って、家族や仲間同士で安否情報を確認し合おう
利用方法は各社ホームページで確認を

★訓練でも使える「ハザードマップ」を本紙と同時に配布しています。ぜひ活用してください。

乳幼児や高齢者は 特にご注意を! ノロウイルスによる食中毒を予防しよう

11月から感染増加、1月頃にピーク

食中毒は気温の高い夏場だけに発生すると思われがちですが、ノロウイルスによる食中毒は冬季に頻繁に発生します。
感染原因はウイルスに汚染され

た二枚貝等を加熱不十分な状態で食べることですが、**ノロウイルスは感染力が非常に強い**ため、**感染者の手洗い等が不十分な場合、周りの人にも感染してしまいます。**

症状...おう吐、下痢、腹痛、発熱など

潜伏期間は1日~2日。おう吐物や便には大量のウイルスが含まれ、**治ってから約1週間は便にウイルスが排出**されます。感染しても症状が出ない人もいますが、ウイルスは排出されるので、日頃から予防方法を実践することが重要です。

▼▼▼予防方法▼▼▼

手洗いをこまめに!

しっかり石けんで!



調理は殺菌を意識

- 食品の中心部までしっかりと加熱する
- 調理器具は熱湯や漂白剤で殺菌・消毒する
- 感染が疑われるときは調理から外れる

おう吐・排泄物の処理は的確に

マスク・使い捨て手袋・エプロンを着用し、処理後は手洗い・うがいをしっかりと

問 保健所食品衛生課 (0798・26・3668)

地域で活躍する 皆を紹介 No.3

安全で住みよい地域社会を目指す 防犯協会

パトロールで犯罪を防止

●●● 水野喬司さんに聞きました ●●●

地域の防犯に携わり22年。甲子園防犯協会副会長、鳴尾西校区10町会防犯パトロール会長を務める。



《安心して暮らせるまちへ》

防犯協会は、皆が安心して暮らせるまちづくりを目指し、警察署と連携しながらパトロールや、振り込め詐欺・チカン・自転車窃盗などの犯罪被害防止に向けた街頭啓発活動などを行っています。

《ちょっぴり自慢の我が“パトロール会”》
中でも私の所属する甲子園防犯協会の「鳴尾西

校区10町会防犯パトロール会」は、毎月10日の夜間パトロールには必ず30人~40人が参加し、拍子木を鳴らしながら町内をくまなく歩いています。こんなにも大人数が活動に参加している例は他に無く、兵庫県内でも活動熱心な地域として有名です。

また鳴尾小学校と連携して、児童の下校指導を年に4回行っています。学校から児童の自宅まで一緒に歩きながら、安全ルールの指導や、通学路の安全確認をしています。

《防犯カメラの設置でさらなる安心を》

日々の地道な活動の効果もあってか、甲子園警察署管内の犯罪件数は減ってきていますが、

未だにチカン犯罪などは発生しています。今後は防犯カメラの設置なども検討して、もっと安心できるまちづくりを進めていきたいです。



問 地域活動支援課 (0798・35・3474)